

公共交通（バス・旅客船等）のアンケート調査結果（速報）

笠岡市の公共交通の将来像を検討するに当たり、利用の現状を把握するため、市民5,000人を対象にしたアンケート、市内の主要施設（笠岡駅、港、商業施設など）でのアンケート、市内の高校生へのアンケートを実施しました。このうち、市民アンケートの結果（速報値）について、概略をご報告します。各種アンケートにご協力いただきました方に対しまして、お礼申し上げます。

市民アンケート調査

陸地部

- ◆ 配布数：4221人
- ◆ 回答数：1936人
- ◆ 回答率：46%
- ※ 数値はいずれも速報値
- ◆ バスの利用実態
 - 外出時にバスを利用する人は14%で、86%の人がバスを利用していません。
 - 現在運行しているバスへの満足度を示した指標である総合評価（運行本数、ダイヤ、運賃など）は、市の全域でマイナスイ評価となっており、特に南部の地域で不満が高くなっています。
- ◆ バス利用の可能性
 - 86%の人がバスを利用していませんが、サービスの向上によって利用する可能性がある人と答えた人は、このうち32%です。その条件として、多くの人が、バス停までの距離が300m、400m以内、片道運賃200円、300円以内、1日当たり運行本数6往復以上と回答されています。

- ◆ バスの改善要望
 - 運行本数の増便と運行ダイヤの見直しという回答が多くなりました。

島しょ部

- ◆ 配布数：789人
- ◆ 回答数：279人
- ◆ 回答率：35%
- ※ 数値はいずれも速報値
- ◆ 航路の利用実態
 - 現在運行している航路への満足度を示した指標である総合評価（運航便数、ダイヤ、運賃など）は、北木島、真鍋島・飛島でプラス評価、高島・白石島・六島でマイナス評価となっています。
- ◆ 航路利用の意向
 - 島によって差異がありますが、利用が困難となる片道運賃は500円、700円、一週間の最低運航日数は4日以下、1日の最低運航便数は3往復以下と回答しています。

陸地部が62%、島しょ部が78%と回答されており、縮小も仕方ないと回答する人よりも割合が高くなっています。

調査結果からの考察

現状では、バスを利用する人は少ないですが、サービスが向上したときや将来、高齢となったときには利用したいという潜在的な需要が予想以上に多いという結果が得られました。

また、バスや旅客船などの公共交通は、「重要な交通手段である」「生活に欠かせない」という声が多く、少なくとも現状維持が求められているという結果も得られました。

これらの声にこたえるために、「笠岡市地域公共交通活性化協議会」を中心に、公共交通の利用満足度の向上や利用促進の施策を検討し、持続可能な公共交通体系の構築に向けて、鋭意取り組んでいきますので、今後とも、ご協力くださいますようお願いいたします。

公共交通に対する考え方

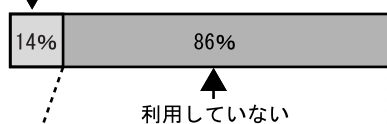
公共交通の現状維持を求めるとさらに充実・利用促進を求めると、陸

問合せは

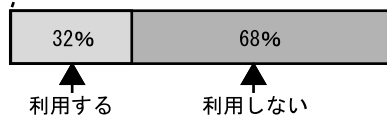
企画政策課

☎2112まで

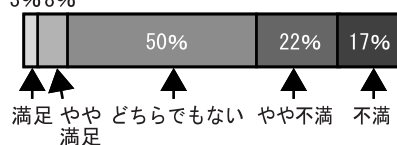
利用している 路線バス利用



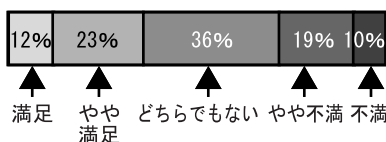
バス利用の可能性



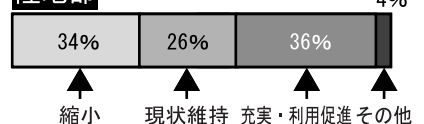
バスの総合評価



航路の総合評価



陸地部 公共交通のあり方



島しょ部

